

各種感染症

治癒証明書が必要です

2024年2月現在

鴨島ひかり乳幼児保育園

病名	病原体	潜伏期	伝播様式	感染可能期	症状	出席停止期間
インフルエンザ	インフルエンザウイルス	1～3日	飛沫感染	感染後約10日	乳幼児では発熱・不機嫌・食欲不振のときに嘔吐・下痢・鼻出血	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで
百日咳	百日咳菌	7～10日	飛沫感染	感染後約3週	発作性咳そのの長期反復持続	咳が消失するまで又は5日間の抗菌性物質製剤で治療終了まで
はしか(麻疹)	麻疹ウイルス	10～12日	飛沫感染	発疹出現の前後4～5日	発熱・上気道のカタル・粘膜疹コプリック斑発疹	解熱した後3日を経過するまで
おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	ムンプスウイルス	15～21日	飛沫感染	明らかな症状を示す7日前からその後9日間続く	発熱、耳下腺、舌下腺、顎下腺の腫張及び圧痛	耳下腺・顎下腺又は舌下腺の腫張が発現後5日経過し健康状態が良好と認められるまで
風疹	風疹ウイルス	14～21日	飛沫感染		種々の発疹、軽熱、リンパ節の腫張	発疹が消失するまで
水ぼうそう(水痘)	水痘ウイルス	14～21日	飛沫感染及び接触感染	水痘発現前2日～後6日	軽熱や高熱、発疹、斑点丘疹状→水疱→顆粒痂皮	すべての発疹が痂皮化するまで
プール熱(咽喉結膜熱)	アデノウイルス	3～9日	飛沫感染及び経口感染	潜伏期の後半から5日間	発熱、咽頭炎と結膜炎の合併症	主要症状を消退した後2日を経過するまで
流行性角結膜炎	アデノウイルス	5～7日	接触感染	発病後約2週間	軽熱、頭痛、全身倦怠、結膜炎の炎症、眼瞼浮腫、目やに	主要症状が消退するまで
急性出血性結膜炎	主にエンテロウイルス	1～2日	接触感染	発病後約4日	流涙、結膜充血、眼瞼浮腫、滲出液	主要症状が消退するまで
りんご病(染色性紅斑)	ヒトパルボウイルス	10～14日	飛沫感染及び接触感染		顔面赤斑とくに頬部の赤斑発疹	発疹が消失するまで
溶連菌感染症	A群溶連菌	2～5日	飛沫感染及び接触感染	潜伏期の後半から急性期の間	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌、頸部リンパ節炎、皮膚発疹	発熱などの主要症状が消退するまで
手足口病	コクサッキーウイルス	3～7日	飛沫感染及び接触感染	水疱消滅まで	手、足、口、殿部に赤斑→水疱感冒様症状	発疹が消失するまで
感染性胃腸炎(ウイルスによるもの)	ロタウイルス アデノウイルス ノロウイルス	1～3日	経口感染及び飛沫感染		発熱、嘔吐、腹痛、下痢	症状が殆ど消失し、主治医が登園を認めた時
マイコプラズマ肺炎(うつる肺炎)	マイコプラズマ ニューモニエ	約2週間			頭痛、倦怠感、発熱、咳	症状が殆ど消失し、主治医が登園を認めた時
RSウイルス	RSウイルス	2～5日	飛沫感染及び接触感染		発熱、鼻水、咳、細気管支炎、肺炎	症状が殆ど消失し、主治医が登園を認めた時
ヒトメタニューモウイルス感染症	ヒトメタニューモウイルス	4～6日	飛沫感染及び接触感染	1～2週間	熱、咳、鼻水	症状が殆ど消失し、主治医が登園を認めた時
ヘルパンギーナ	A群コクサッキーウイルス	2～4日	飛沫感染及び経口感染		発熱、咽頭に小水痘性の発疹	症状が殆ど消失し、主治医が登園を認めた時
髄膜炎菌性髄膜炎	乳児-B群溶血性連鎖球菌 幼児-インフルエンザ桿菌	2～4日			発熱、頭痛、嘔吐、進行すると痙攣や意識障害	感染のおそれがないと認めるまで

※ とびひ、突発性発疹、ヘルペス性口内炎になった時は 症状の殆どが消失し、主治医が登園を認めた時

※ 新型コロナ感染症は発症後5日を経過し、かつ症状が軽快したのち1日を経過すること